

42

さんぶいちゆうすい
三分一湧水

山梨県長坂町



データボード④2

- ① 山梨県長坂町小荒間
- ③ 分水樹
- ④ 矩形石積みの分水樹，三角石柱
- ⑤ 名水と国蝶オオムラサキの里まつり（名水珍道中，名水流しそうめん）

「三分一湧水」の名は、武田信玄がこの湧水を農業用水として三つの村に等分配水したことから名付けられたもので、矩形の石積み工法の分水樹と樹中の三角石柱で三方向に分水されている。

水量は日量約八五〇〇立方メートルと豊富で、水温は年間を通して一度前後を保っている。

また、リゾート化の進む八ヶ岳南麓においても三分一湧水はシンボルの存在になっており、周辺の公園の整備ともあいまって、潤いを感じさせる場所として多くの人々に親しまれている。